

野菜の概況

1 野菜の需給動向

野菜の1人1年当たりの消費量（供給純食料）は近年減少傾向にあり、平成14年度では96.7kg、平成15年度（概算）では95kgとなった。

また、野菜の生産量も高齢化の進展等により、減少傾向で推移しており、平成15年度は、前年に比べ41万トン減少し、1286万トンとなった。

一方、野菜の輸入量は、近年増加傾向で推移し、平成15年度の野菜の輸入量は281万トン（生鮮換算ベース）で、前年に比べ106%と増加した。この結果、野菜の自給率は、平成14年度は83%、平成15年度（概算）で82%となった。

表1 野菜の需給

(1) 平成15年度(概算値)

人口 127,619千人(平成15年10月1日現在)

(単位:断りなき限り1,000トン)

類別・品目別	国内 生産量	外国貿易		在庫の 増減量	国内消費 仕向量	国内消費仕向量の内訳					
		輸入量	輸出量			飼料用 加工用 種子用	減耗量	粗食料		純食料	
	総数			1人1年 当たり	総数			1人1年 当たり			
野菜	12,857	2,806	4	0	15,659	0	1,587	14,072	110.3	12,122	95.0
a. 緑黄色野菜	2,716	1,152	3	0	3,865	0	368	3,497	27.4	3,221	25.2
b. その他の野菜	10,141	1,654	1	0	11,794	0	1,219	10,575	82.9	8,901	69.7
野菜	12,857	2,806	4	0	15,659	0	1,587	14,072	110.3	12,122	95.0
1. 果菜類	3,684	1,336	2	0	5,018	0	483	4,535	35.5	3,735	29.3
うち果実的野菜	958	78	0	0	1,036	0	122	914	7.2	613	4.8
2. 葉茎菜類	5,930	924	1	0	6,853	0	860	5,993	47.0	5,235	41.0
3. 根菜類	3,243	546	1	0	3,788	0	244	3,544	27.8	3,152	24.7

資料:農林水産省「食料需給表」

(2) 平成14年度(確定値)

人口 127,435千人(平成14年10月1日現在)

(単位:断りなき限り1,000トン)

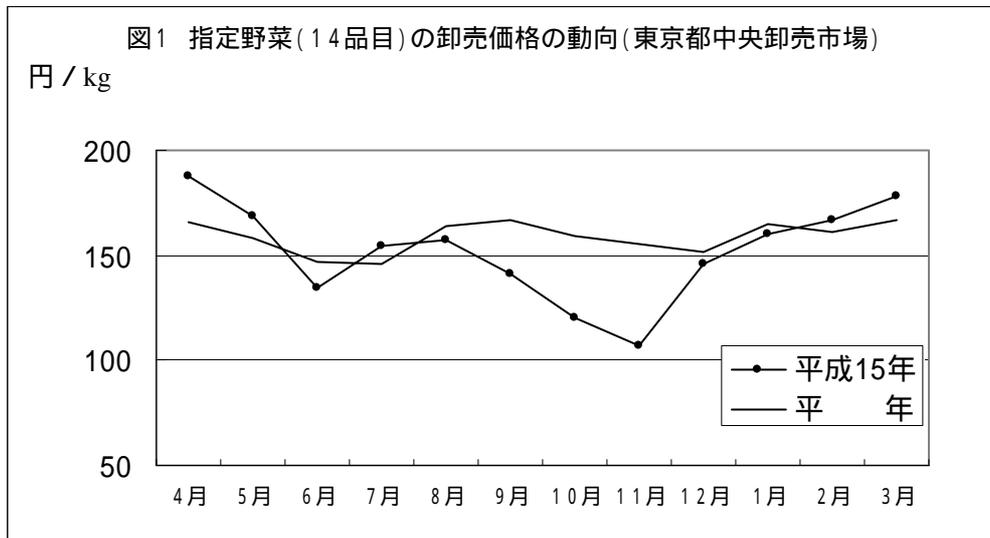
類別・品目別	国内 生産量	外国貿易		在庫の 増減量	国内消費 仕向量	国内消費仕向量の内訳					
		輸入量	輸出量			飼料用 加工用 種子用	減耗量	粗食料		純食料	
	総数			1人1年 当たり	総数			1人1年 当たり			
野菜	13,269	2,657	5	0	15,921	0	1,614	14,307	112.3	12,317	96.7
a. 緑黄色野菜	2,731	1,134	1	0	3,864	0	368	3,496	27.4	3,218	25.3
b. その他の野菜	10,538	1,523	4	0	12,057	0	1,246	10,811	84.8	9,099	71.4
野菜	13,269	2,657	5	0	15,921	0	1,614	14,307	112.3	12,317	96.7
1. 果菜類	3,871	1,313	1	0	5,183	0	499	4,684	36.8	3,850	30.2
うち果実的野菜	1,025	74	0	0	1,099	0	130	969	7.6	647	5.1
2. 葉茎菜類	6,115	836	4	0	6,947	0	871	6,076	47.7	5,314	41.7
3. 根菜類	3,283	508	0	0	3,791	0	244	3,547	27.8	3,153	24.7

資料:農林水産省「食料需給表」

2 野菜の価格動向

平成15年度の野菜の価格は、年度前半の4～7月は、日照不足の影響で入荷量が平年を下回ったこと等から、平年を上回る価格で推移したが、後半は、天候の回復、冷夏による需要の減少等から総じて平年を下回る価格で推移し、特に11月は、好天に恵まれ、生育が順調に推移する一方で、需要が伸び悩んだことから平年を大幅に下回る価格となった。

12月以降16年に入ってから、徐々に価格は回復し、全体としては平年並みの価格で推移した。



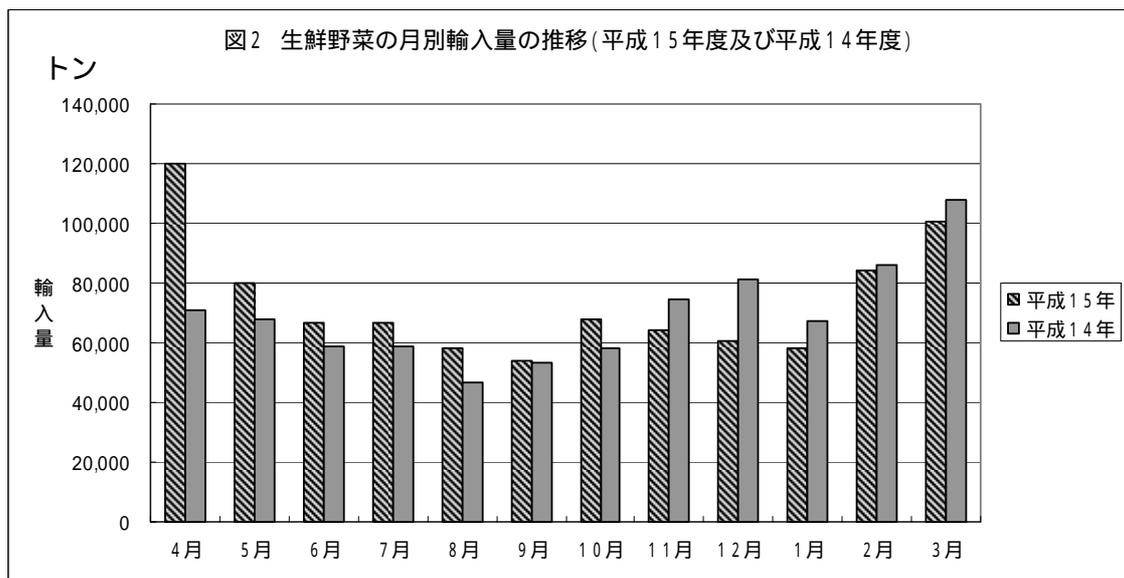
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成15年	188	169	135	155	157	141	120	107	146	160	167	178
平年	166	158	147	146	164	167	159	155	152	165	161	167

資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における野菜の市場別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5カ年(平成10年～14年)の月別価格の平均値である。

3 野菜の輸入動向

平成15年度の野菜の輸入量は247万トン（4～3月：加工品は製品ベース）で、うち生鮮野菜は、88万トンと前年比106%となった。これは、平成15年度の前半は、国内の卸売価格が平年を上回る価格で推移したこと等から、輸入量が45万トン（前年比125%）と増加（品目ではたまねぎ、にんじん等が増加）したことによる。一方、後半は、平年を下回る価格で推移したこと等から、輸入量は43万トン（前年比92%）と減少した。



資料：財務省「貿易統計」